

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス Zooの駅			
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 5 日 ～ 2025 年 11 月 29 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2025年 11月 5日 ～ 2025年 11月 29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 2 月 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的にクッキング活動を行い5感を使って学んでもらっています。	個々の特性を理解し役割を分けて出来ることから担当してもらい成功体験を作っています。	「出来た」を自信につなげ、完成した料理をみんなで食べる事で達成感を味わいモチベーションアップに繋げていきます。
2	定期的に運動レクを行い身体を動かす楽しさ、身体能力、四肢の動作の改善、筋力の強化維持を支援しています。	個々の出来るレベルから行い、出来た瞬間は直ぐに褒めて自信に繋げています。 見本を見せて視覚的に分かりやすくしています。	好きな道具やゲーム性を取り入れ、モチベーションアップに繋げていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会がまだ作れず、実施出来ていない。	スタッフの配置や企画、準備、当日対応が難しい。	交流したい保護者が参加しやすい場所、時間、規模等検討していく。
2	協議会などへの参加が少ない	開催時間など都合が合わない	情報交換は行いたいため、会議の必要性、重要性を確認し担当以外の代理参加もしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
放課後等デイサービス Zooの駅		2026 年 2 月 1 日				27		23	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	3		3	運動レクの際、もう少し広い方が良いと感じるが体育館も使用され確保されている。	スペースに応じた対応、工夫をし取り組んでいる。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1		4	日々の配置人数がどのくらいなのか分からない。	人員配置の基準に沿って職員の体制を整え、ゆとりのある支援をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			3			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20			3			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22			1	個別性の配慮はある。	サポートブック等で事前に特性を把握し、更に保護者にアセスメントを行う。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			2			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23				保護者に相談し課題を分析した上で、計画立案し作成されていると思う。	5領域を網羅した個別計画書になった事もあり細かく分析している。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22			1	個別性への配慮があり、支援が行われている。	個別の特性に合わせた対応を行っている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23				色々と楽しいイベントを企画してくれている。イベントもあつたり子供も楽しみを持って取り組み、意欲にも繋がっている。	新しい設備や教材の導入を検討する。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	2	1	8			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	5	9	ペアトレの支援などは無いような気がする。	事業所では保護者と話をする機会はあるが、市からの情報をもっと提供していく。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23				送迎の際、子供の様子を説明してくれている。	家族連携などで共通理解が出来るよう努めている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21		2		何かあれば、送迎時にお話しされる。	送迎時や電話などで情報共有をしている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23				個別対応が出来る環境をつくってくれた。今は保護者に寄り添って頂けると感じる。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	10	8	保護者等の交流は機会が無い。	年々保護者会の需要が上がってきているため検討していく。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19			4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1			送迎の連絡が無い事もあり不安になる事もあった。忙しいと思うが確実にしてほしい。	連絡は、確実にやっているか再確認していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22			1	以前より定期的に、情報、様子を発信してあるような気がする。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23				SNS、写真の配慮は工夫してある。	スタンプ等で加工しての発信をすることで個人情報に配慮を行うようにしている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2		2	以前より工夫はされているが、まだ、不透明な部分が多いように思う。	訓練は定期的に行っているため、Zoo便りやSNS等を通じて保護者が把握できるように取り組む。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23					安心して通所できる環境を継続していく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1			いつも楽しく通っています。日によって行きたくないと言われることがある。	成功体験を積み重ねていき、自己肯定感の向上を図っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				食育に力を入れている場で、子ども自身も「美味しかった」「家で作ってみたい」と言う事もあり家では出来ない経験をさせてもらっている。	個別支援計画に基づき、無理のない目標達成を支援していく。
	30	事業所の対応に満足していますか。	23				送迎の順番にこだわりがあり、相談すると直ぐに対応してくれた。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス Zooの駅		2026 年 2 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		1日の利用者定員10名に対して、機能訓練室、相談室、デイルーム等のスペースがあり、基準を満たしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		常時適切な職員を配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		手すりの設置、段差解消等を図るよう配慮しており、なお配慮が必要な箇所があれば、速やかに改善に努めている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動に応じて物の移動をしたりすることで空間づくりをしている。配慮があれば速やかに対応する様に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室は開かれたものとし、必要な利用者は誰でも利用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		管理者兼児童発達支援管理責任者及び指導員が改善すべき点を挙げ話し合い業務改善に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けアンケートを毎年11月頃に実施し、その結果を基に職員で話し合い業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		面談を行ったりサービス提供前に話をすることで意見や利用者の様子を共有し、必要に応じて業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		必要に応じて行う予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		積極的に研修は受講し、受講が終わったあとに事業所内で共有をするようにしている。	市で開催される研修の共有の徹底を行い、受講できるものを確実に把握できるようにしていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		年度内にHPやSNSにて公表済み。	修正等があれば随時発信をしていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		6か月、もしくは3か月ごとに個別支援計画書を作成し、保護者と本人との面談を行ったうえで修正を行い計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画書の作成前に職員で話し合いを行い、共通理解を行い、利用者主体の支援を検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書は職員誰でも閲覧できるようにし、自分で再確認しながら支援ができるようにしている。	具体的な支援内容まで周知徹底できるように連携を図っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		個別記録を日々作成したうえで、支援の見直しを行っている。過去のものと比較も行い、再アセスメントをしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」に繋がりをつくり同じ方向性のねらいを持ちながら個々に応じた支援内容の設定を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			支援プログラムや支援内容に繋がるものを常に探していく。

又 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		指導員中心のもと、職員間で相談し毎月の行事や活動プログラムを作成している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団療育を中心としたうえで、個別に支援も用意して対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前には打ち合わせを行い、今日の動きの確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		個別記録をもとに、支援の仕方や振り返りを行い、次に繋げるように努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別記録の評価を基に支援内容の見直しを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリング等に関わらず、家庭環境や学校生活で変化があった場合は訪問しアセスメントを取り、モニタリングや計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		「日常生活の充実と自立支援のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流」「子どもが主体的に参画できる活動」を日々複数組み合わせる支援をしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者兼児童発達支援管理責任者が中心として参加を行うようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者への確認も含め、HPから下校表を細心で確認する様に努めている。連絡調整は管理者を中心に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		デイサービス利用開始までに保護者より事前に話を聞いて情報共有をさせてもらっている。	必要に応じて適宜行いたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		求められた場合は提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		近隣の公園等での活動の際には交流促進を図っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		日程的に難しい時もあるが出来るだけ参加できるようにしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や電話・LINEを通して説明し、ご家庭の様子も伺うようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		学校からの情報提供が多くあるため、積極的には行っていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明を行い、契約をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		家族連携で何ったり、作成前に伺うようにすることで細やかに把握し配慮した上で作成できるように努めている。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書を一緒に見て確認しながら説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		こちらから気になったときにはお伺いをするようにしたうえで、送迎時等で話を出来る機会を作るようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在はそのような取り組みをしていないが今後は保護者会の設置や連携を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情が発生したときには、職員間で発生原因と改善策を考え共有し、迅速に対応するように心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に数回のInstagramでの発信、HPにてZoo便りの公開も行っている。	Instagramを見てくれる保護者が多いため更新頻度を上げていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護に関する取り決めの内容に沿い、情報漏洩がないように鍵付きの棚、部屋にて管理している。守秘義務に関しても留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援を用意し意志発信の手助けになるようにここにに応じて使っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			現在は取り組みをしていないが将来的には近隣の人達との関りをこちらからも発信していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的の実施を行っている。	周知している保護者が少ない為、SNSなどでしっかり発信していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的の実施を行っている。	周知している保護者が少ない為、SNSなどでしっかり発信していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		サポートブックに記入されているものは把握し、更に追加で増えた場合は保護者発信してもらえるようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者（医師の指示に基づく）からの利用にあたっての留意事項として提出していただき、適切に対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎日、安全管理に関わる項目をチェックしている。	安全計画の共有を年度初めに行っているが、毎月確認できるように検討したい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		Googleスプレッドシート上での記入を行い、事業所内だけでなく会社内で共有できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に虐待防止の研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、身体拘束を要する利用者はいないがそのような場合は保護者へ説明、了承を得てから適切に対応を行っていく。	